

平成24年度 【大学振興会研究奨励補助】研究成果報告書

学部名 教育学部

フリガナ ワタナベ コウ
氏名 渡邊 康

研究期間 平成24年度

研究課題名 大学教育における吹奏楽曲の評価と制作

研究組織

	氏名	学部	職位
研究代表者	渡邊 康	教育学部	准教授
研究分担者			
研究分担者			

1. 本研究開始の背景や目的等 (200字~300字程度で記述)

椋山女学園大学には吹奏楽団が存在しない。初等中等の教育現場では吹奏楽活動は一般的なものであり、本学規模の大学においてはその高校までの経験者が一学年200名以上存在すると思われるが、本大学にその受け皿がない。ほとんどが止めてしまうか、他大学や地域の一般楽団に流出しているのが現状である。そこで本学に吹奏楽活動の拠点としてのウィンドオーケストラ(吹奏楽団)を設立しコンクールに出場し外部にて定期演奏会を行うことで本学の文化向上とともに部活動による学生生活の充実を計り、学外にもその存在を示す。本研究では本学の吹奏楽団が演奏するにあたってその楽曲を研究し、コンクールや適する楽曲に仕上げ演奏するのを目的にする

2. 研究方法等 (300字程度で記述)

椋山ウインドオーケストラは24年の4月に立ち上るが楽器が足りない。まず演奏が可能な状態に整備すべきである。本研究では小打楽器を研究費にて購入する。学園祭、オープンキャンパス、クリスマス演奏で問題点を洗い出し評価する。そして対策をたてる。具体的には10月の学園祭の演奏の時点での足りない小打楽器を購入し導入する。演奏会での録音録画から演奏の状態をチェックしさらなる演奏の質の向上を図る。

3. 研究成果の概要 (600字～800字程度で記述)

楽器購入と楽譜購入 (GIRLFRIEND arr.Murtha) によって、本年度の活動の集大成である2013年2月25日に青少年文化センターアートピアホール (名古屋市中区栄3丁目・座席数約700) で開催した「椙山女学園大学ウインドオーケストラ第1回定期演奏会」が可能となったので、その曲目と概要を記述する。

第1部 J.ヴァンデルロースト作曲「アルセナール」、J.P スーザ「美中の美」、渡辺康「リーチ・アウト」 A.リード「春の猟犬」

第2部 久石譲「ハウルの動く城メドレー」「ガール・フレンド」「フライングゲット」

第3部 酒井格「たなばた」、ガーシュイン「ラブソディー

第4部 ・イン・ブルー」

購入した、合わせシンバルはすべての曲で必要である。トランペットのカップミュートとストレートミュートは「春の猟犬」「ラブソディー・イン・ブルー」で多用。コンサートトライアングル、ウッドブロック、クラベス、ウインドチャイム、ワイヤーブラシ、フラッパーカスタネット、タンバリンは「たなばた」を中心に多用している。

つまり吹奏楽演奏に必要な不可欠な小打楽器がない状態での吹奏楽団の発足であったところ、当研究費によって充足することができた。これは今年度ぜひとも必要な措置であって、単年度のみならず継続的に使用できるものであり、椙山女学園大学の文化向上、教育内容の質量の向上に貢献するものである。

4. キーワード (本研究のキーワードを1以上8以内で記載)

①吹奏楽団	②小打楽器	③定期演奏会	④文化向上
⑤	⑥	⑦	⑧

5. 研究成果及び今後の展望 (公開した研究成果、今後の研究成果公開予定・方法等について記載すること。既に公開したものについては次の通り記載すること。著書は、著者名、書名、頁数、発行年月日、出版社名を記載。論文は、著者名、題名、掲載誌名、発行年、巻・号・頁を記載。学会発表は発表者名、発表標題、学会名、発表年月日を記載。著者名、発表者名が多い場合には主な者を記載し、他〇名等で省略可。発表数が多い場合には代表的なもののみ数件を記載。)

椙山女学園大学ウインドオーケストラ第1回定期演奏会
2013年2月25日 18時30分開演 青少年文化センター アートピアホール